

3. 五・一五事件 (1932年)

満州国をつくったことに対して内閣が反対すると、満州国がつくられた1932年の5月15日、総理大臣の犬養毅が海軍のグループによって暗殺されました。(五・一五事件)

この事件によって犬養内閣は総辞職し、今後の内閣は軍人がなり、第二次世界大戦後まで政党内閣は復活しません。

いくさにGO！行こう！

1932年5月15日

2. 二・二六事件 (1936年)

1936年2月26日には、陸軍の若い軍人たちが首相官邸や警視庁などを襲撃し、政府の高官たちを暗殺しました。(二・二六事件)

軍人たちは、天皇中心の軍事政権を成立させて、政治改革を実現しようとしたが、これは失敗に終わりました。ただ、この事件をきっかけに、軍部の発言力が強まり、軍備の拡張など、自分たちの意見を無理やり通していくようになりました。

いくさ、無に包む東京を

1936年2月26日

17. 日中戦争 (1937年)

1931年、柳条湖事件（日本が、「中国が線路を爆破した」と言いがかりをつけて中国を攻撃した事件）から満州事変を起こした日本は、清朝最後の皇帝溥儀をトップにした満州国を建国しました。

満州国を支配下に置いた日本の軍はさらに北に進んでいきます。そして1937年、北京郊外の盧溝橋で日本軍と中国軍が衝突し、銃撃戦が起こります。これをきっかけに、日本は中国での軍事行動を本格化させ、国民政府（蒋介石）と中国共産党（毛沢東）で対立していた中国も内戦を中断し、両者協力して日本に対して戦争する体制をとりました。こうして全面的な日中戦争が始まりました。

行くぞ、みんなで日中戦争

1937年